

学会で発表しました

平成29年11月26日 於 高知市

「第61回中国四国合同産業衛生学会」で、山口孝子医師が口述発表いたしました。
要旨は次のとおりです。

『職業別大腸がん検診成績の検討』

職業別と深夜業務の有無で大腸がん検診成績を比較、検討した。対象は2011年4月1日から2016年3月31日までの5年間に当協会で生活習慣病予防健診を受診した男性。5年間の検診受診率は、運輸・通信職が最も低く、要精検率は運輸・通信職が最も高く、事務職が最も低かった。精検受診率は管理的職業が最も高く、保安職及び運輸・通信職が最も低かった。深夜業務ありは、深夜業務なしに比較し、検診受診率、精検受診率が低く、要精検率が高かった。